

2018. 11. 1

朝晩の冷え込みが増す晩秋、木々の葉が落ち、紅葉が美しい里山の光景に心が癒されます。セグロセキレイが田んぼに下り、林縁からジョウビタキの声が聞こえます。鳥たちが主役の季節はまもなく・・・。真っ青な空を仰ぎながら、里山の秋に心遊ばせるそんな時間が持てたら最高です。



**木の実  
草の実**





ムラサキシキブ



ガマズミ



ヤマコウバシ



クサギ



サルトリイバラ



ゴンズイ



トキリマメ



ノササゲ



ヒヨドリジョウゴ



ヘクソカズラ



ヨウシュヤマゴボウ



ハダカホオズキ



カラスウリ



ガマ

**クヌギ**



**コナラ**



**ドングリの仲間**

**シラカシ**



**スタジイ**



**アカガシ**



### <季節メモ>

#### ドングリの戦術？

秋の里山、林床に転がるドングリはブナ科の果実の総称です。

今年、堂谷津の里のドングリは、不作の年のような感じでした。実は天気や木の栄養状態にも左右されるとのことですが、虫や動物対策として、木は実る年と実らない年を作っているとも言われています。とすると今年は、虫にとっては災難の年、食べ物が少ないので仲間は減ることになります。木にとってはしめしめ！ 虫が少なくなるので来年は子孫を残そうと実をたくさんつけるはずなのですが・・・

写真・編集：晝間